

JOYO BANK

個人投資家向け 会社説明会

2015年3月

ベストパートナーバンク



常陽銀行

東証第1部 8333

1. 常陽銀行のご紹介

～「健全、協創、地域と共に」(経営理念)～

会社概要	2
当行の規模およびシェア	3

2. 営業地盤

～発展・拡大する「いばらき圏」～

茨城県の基礎データ	4
発展・拡大する「いばらき圏」	5

3. 業績

～拡大基調が継続～

平成26年度中間期実績・通期業績見通し	6
当行業績の推移	7
貸出金・預金・住宅ローン・預り資産	8
店舗展開	9

4. 地域貢献

～未来協創プロジェクト「PLUS⁺」～

第12次中期経営計画	10
未来協創プロジェクト「PLUS ⁺ 」	11-14

5. 株主還元

～増配、株主優待制度を充実～

配当・自己株式取得	15
株主優待制度	16

6. 株価動向

～良好なパフォーマンス～

当行株価動向	17
配当利回り	18

【参考資料】

有価証券・自己資本比率・開示債権比率	19
--------------------	----

経営理念

『健全、協創、地域と共に』

地域金融機関として、お客さまのため、
地域のために何ができるか、懸命に考え
実践してまいります。

目指す姿

第12次中期経営計画（平成26年度～28年度）

『地域の未来を協創する ベストパートナーバンク』

総合金融サービスの提供により、
お客さま・地域の課題解決に貢献する。

会社概要（平成26年3月31日現在）

創 立	昭和10年7月
総資産	8兆5,084億円
預 金	7兆4,909億円
貸出金	5兆3,993億円
店舗数（従業員）	179ヵ店（3,671名）
連結純資産（うち資本金）	5,169億円（851億円）
自己資本比率	12.60%（連結）、12.19%（単体）
格 付	A2（ムーデイズ）、AA-（R&I）

< R&Iの発行体格付 >

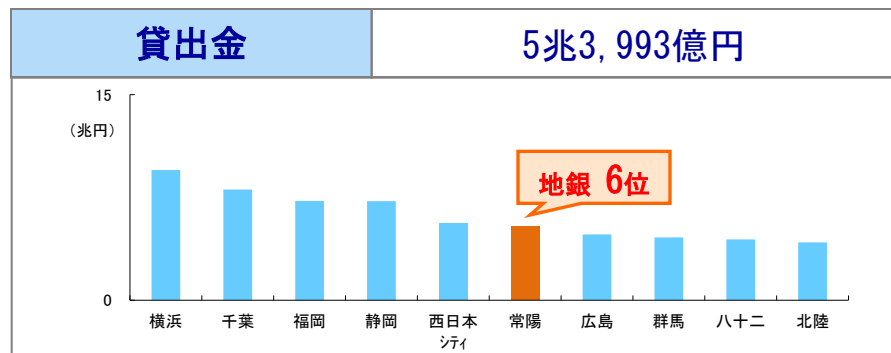
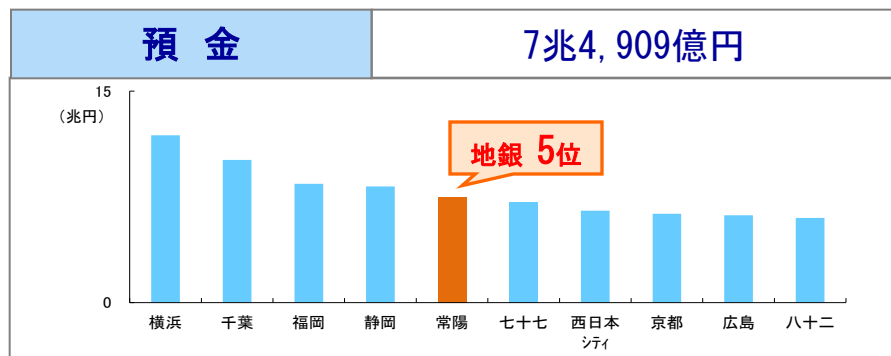
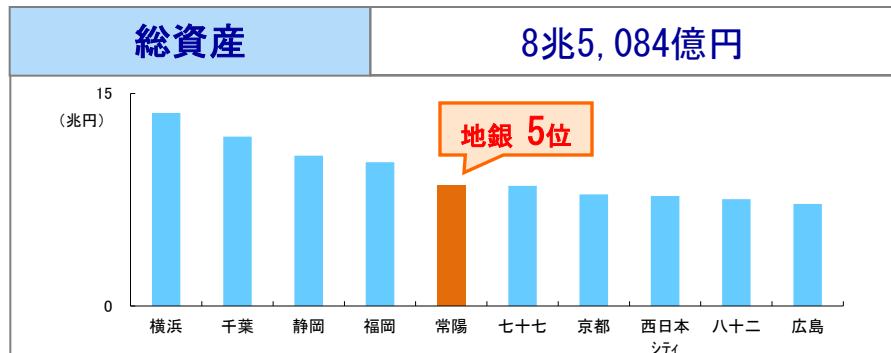
AA	静岡銀行
AA-	常陽 横浜銀行、千葉銀行、中国銀行、伊予銀行、福岡銀行、 三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、 みずほ信託銀行
A+	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ●●●
A	○○○○
A-	○○○○○
BBB+	○○

○地方銀行
●大手行など
(平成26年12月末現在)

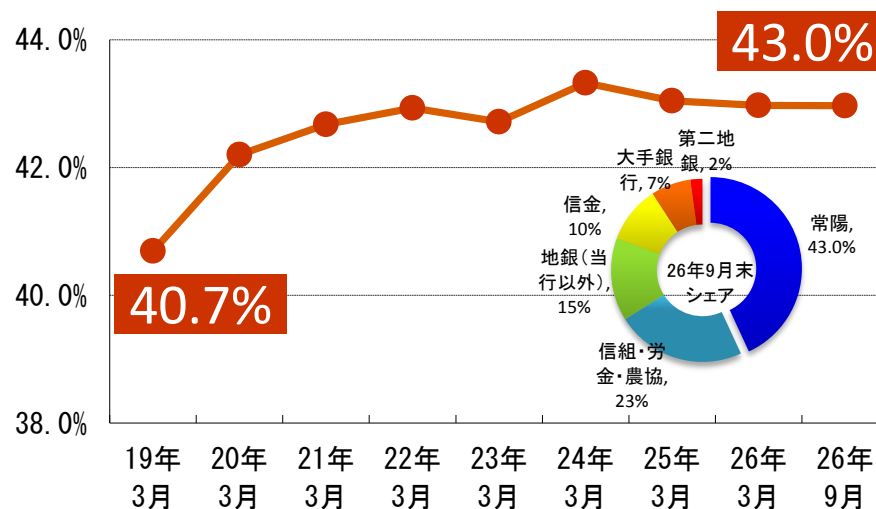
1. 常陽銀行のご紹介 ～ 当行の規模およびシェア ～

当行の規模（地銀業界）

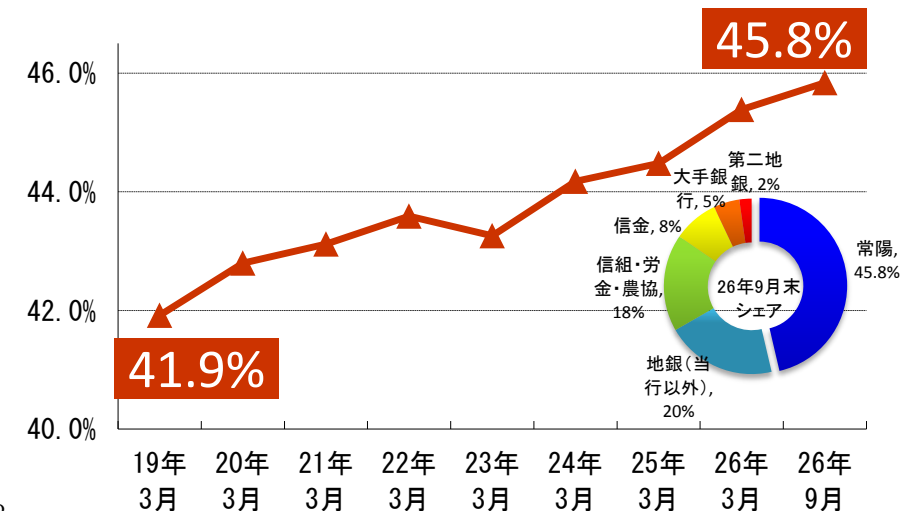
平成26年3月31日現在



預金シェアの推移（茨城県内）



貸出金シェアの推移（茨城県内）



2. 営業地盤 ～ 茨城県の基礎データ ～

基礎データ

		(全国順位)	(基準年)
人口	294万人	11位	2012年
総面積	6,096km ²	24位	2012年
可住地面積	3,982km ²	4位	2012年
県内総生産(名目)	10兆1,884億円	12位	2011年
農業生産高	4,281億円	2位	2012年
製造品出荷額 (従業員4名以上)	11兆977億円	8位	2012年
太陽光発電施設 (10KW以上)	1,869 MW	2位	2014年1月

【資料】茨城県、国土交通省、内閣府、総務省、経済産業省、農林水産省

工場立地

		(全国順位)	(基準年)
工場立地件数	147件	1位	2013年
工場立地面積	1,879ha	1位	2004年～ 2013年の累計
県外企業誘致件数	82件	1位	2013年

工場立地上での茨城県の魅力

- ◎ 絶好のロケーション
- ◎ 平坦な地形
- ◎ 廉価な地価
- ◎ 豊富な労働力



全国シェア1位の生産品 (全国シェア)

農産物 (25年度)



- | | |
|--------------|----------------|
| ・陸稲 (69.5) | ・れんこん (48.2) |
| ・芝 (39.7※) | ・みずな (38.5) |
| ・くり (23.4) | ・春はくさい (43.0) |
| ・ピーマン (24.3) | ・ちんげんさい (27.0) |
| ・メロン (23.1) | ・鶏卵 (8.0) |

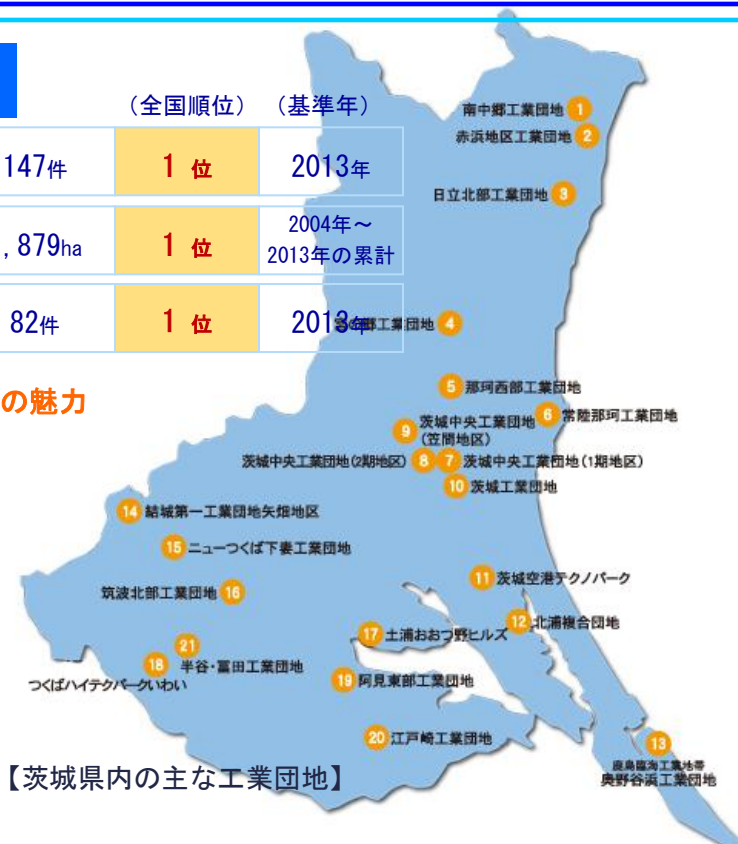
※芝は24年度

水産物 (25年度)

- ・えび類<内水面> (57.8)
- ・淡水真珠<内水面> (85.9)
- ・まいわし (21.0)
- ・さば類 (17.7)

製造品 (24年度)

- ・通信ケーブル (40.9)
- ・ショベル系掘さく機<パワーショベル等> (33.1)
- ・理化学用、医療用ガラス機器<ピペット等> (35.3)
- ・鉄骨系プレハブ住宅 (17.5)
- ・ビール (14.8)
- ・その他の製造食料品<こんにゃく、納豆等> (8.8)



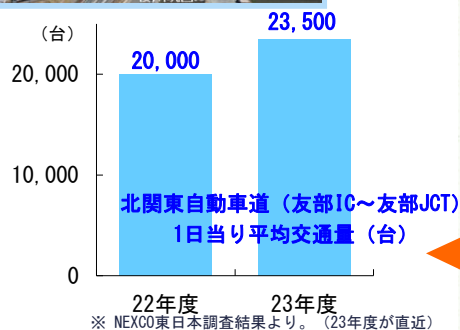
2. 営業地盤 ～発展・拡大する「いばらき圏」～

高速道路網※



北関東自動車道全線開通
(群馬～栃木～茨城)
平成23年3月

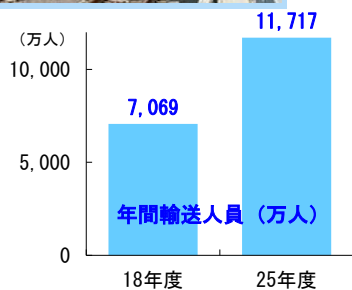
※ 写真は北関東自動車道



つくばエクスプレス



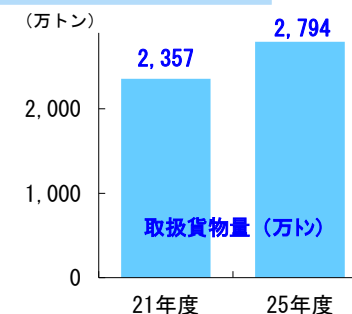
平成17年8月開業
(秋葉原⇄つくば)
(最速45分)



茨城港



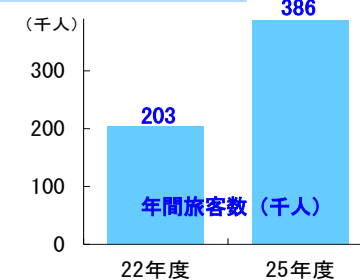
平成20年12月開港
(17航路: 北米、アジア、
北海道、他)



茨城空港



平成21年3月開港
(札幌、神戸、
福岡、那覇、
上海)



3. 業績 ～平成26年度中間期実績・通期業績見通し～

(単位:億円)

	中間期			通期(見通し)			
		前年同期比	当初公表値比		前年度比	当初公表値比	
業務粗利益	553	+15	△ 1	1,085	+27	△ 20	一般企業の粗利益(売上-売上原価)に相当
うち資金利益	462	+5	+7	900	△ 6	△ 10	(貸出金利息+有価証券利息配当金など)-(預金利息など)
うち役務取引利益	68	+0	△ 6	140	+8	△ 10	預り資産販売手数料、など
うち国債等債券損益	16	+11	+12	30	+25	±0	国債、政府保証債、社債など債券の売却損益、など
経費	360	△ 0	△ 9	700	△ 6	△ 20	-
業務純益	207	+14	+12	405	+32	+5	一般企業の営業利益に相当
臨時損益	2	△ 4	+22	△ 20	△ 5	+40	-
うち不良債権処理額	23	△ 32	△ 6	40	△ 44	△ 25	-
うち株式等関係損益	21	△ 40	+11	21	△ 53	+11	株式、上場投資信託(ETF)等の売却損益、など
経常利益	209	+10	+34	385	+26	+45	-
当期純利益	136	+11	+26	230	+9	+10	-
【連結】 経常利益	234	+10	+39	430	+16	+45	-
【連結】 当期純利益	151	+9	+31	275	+24	+30	-

平成26年度中間期決算(単体)のポイント

- ・資金利益、国債等債券損益の増加や、不良債権処理額の減少により、業務純益、経常利益、当期純利益いずれも前年同期および当初公表値を上回った。

◇ **当期純利益 136億円(前年同期比+11億円)**

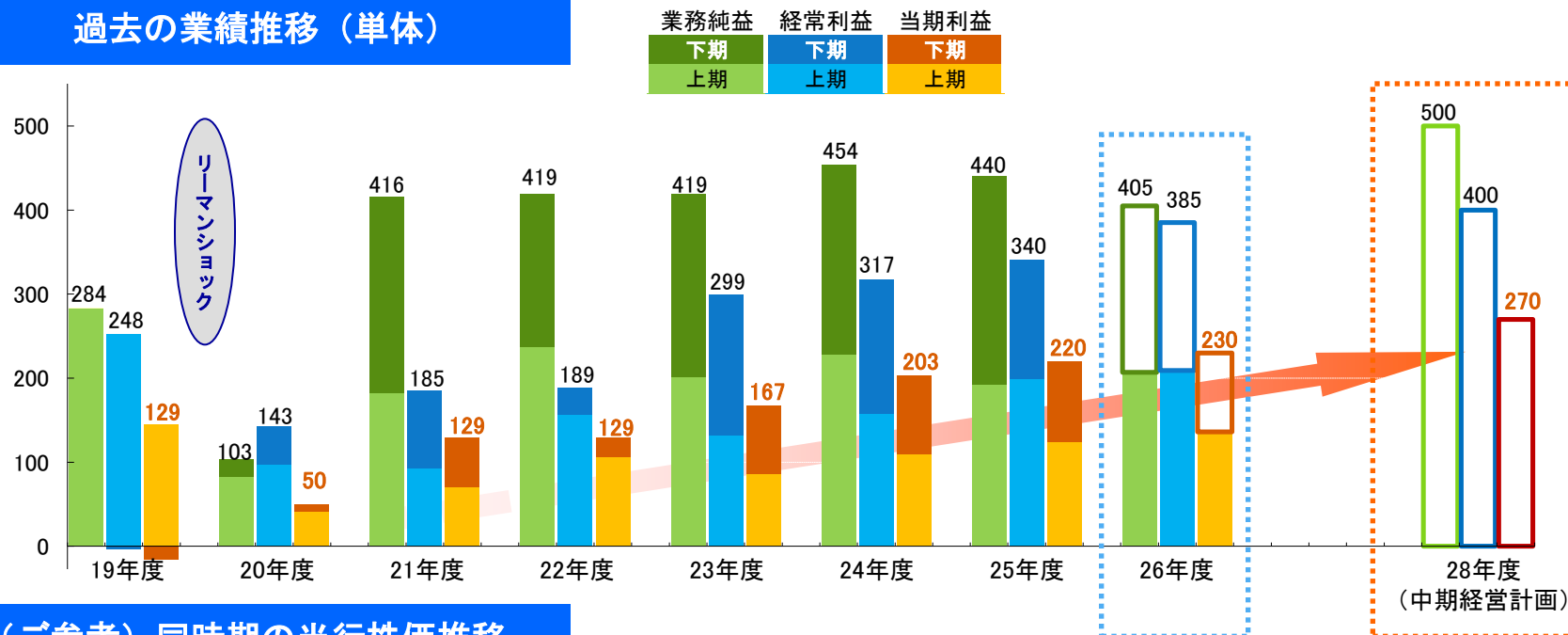
平成26年度通期業績見通し(単体)のポイント

- ・不良債権処理額および経費が当初公表値を下回る見通し。単体・連結ともに経常利益、当期純利益を上方修正。

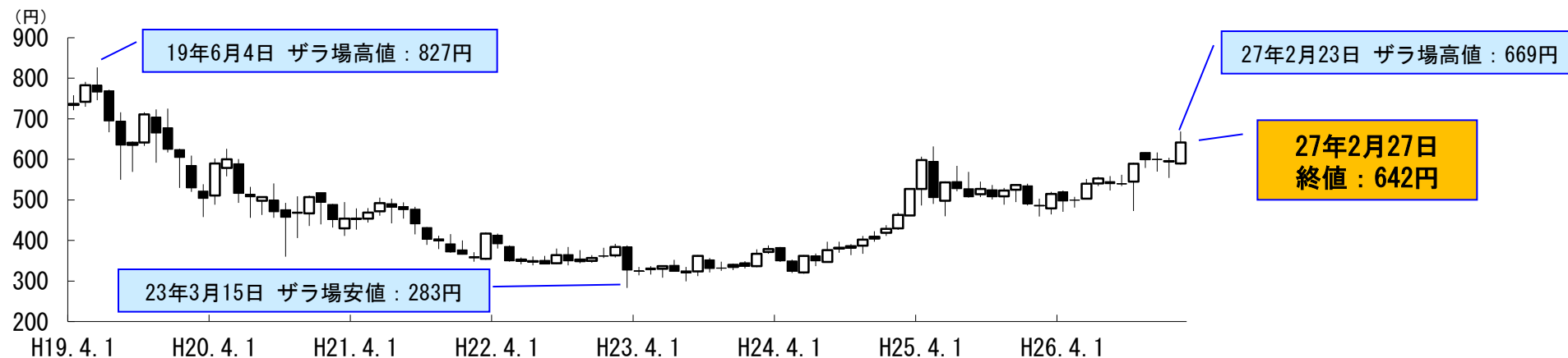
◇ **当期純利益 230億円(前年度比+9億円)**

3. 業績 ～当行業績の推移～

過去の業績推移（単体）



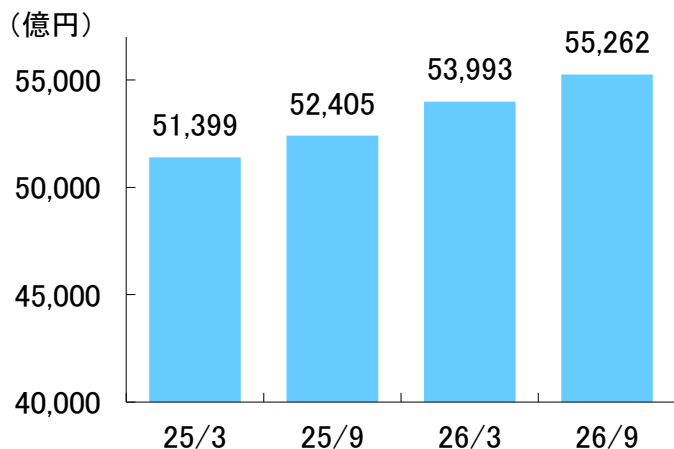
（ご参考）同時期の当行株価推移



3. 業績 ～貸出金・預金・住宅ローン・預り資産～

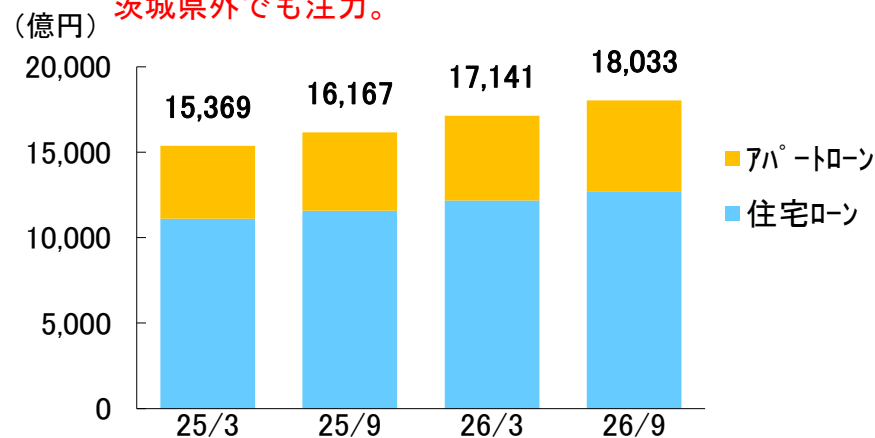
貸出金残高

◎ 太陽光関連や医療・介護など成長分野のほか住宅ローン等に積極的対応。



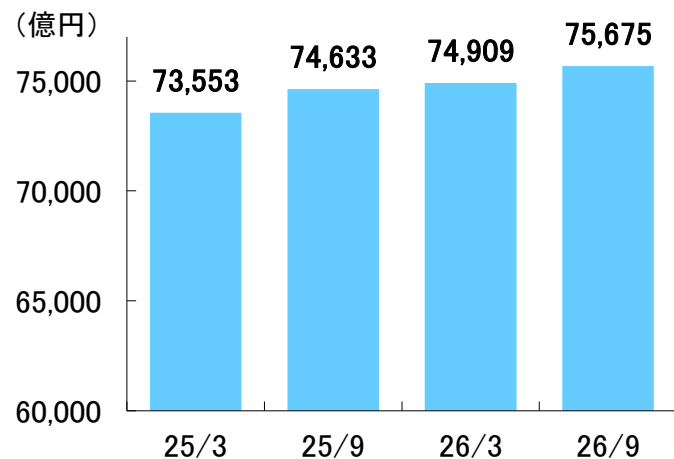
住宅関連ローン残高

◎ 消費税増税前の駆け込み需要に積極的に対応。茨城県外でも注力。



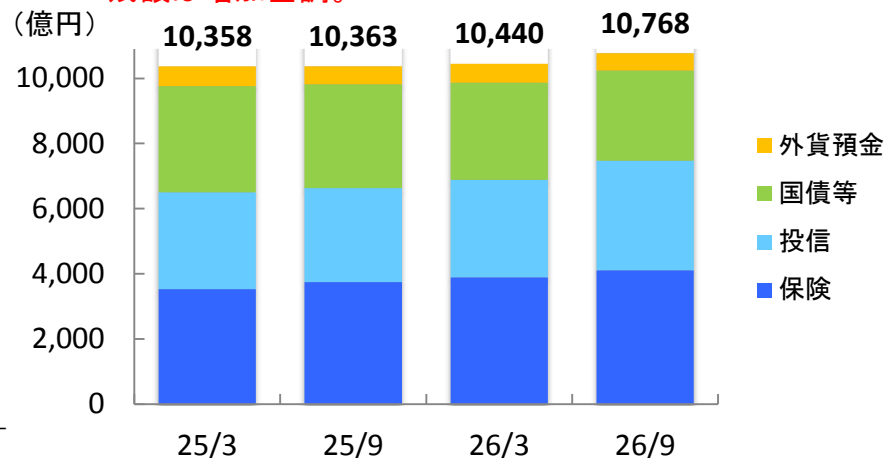
預金残高

◎ 増加基調が継続。



預り資産残高

◎ 保険、投信を中心に資産運用ニーズへお応えし残額は増加基調。

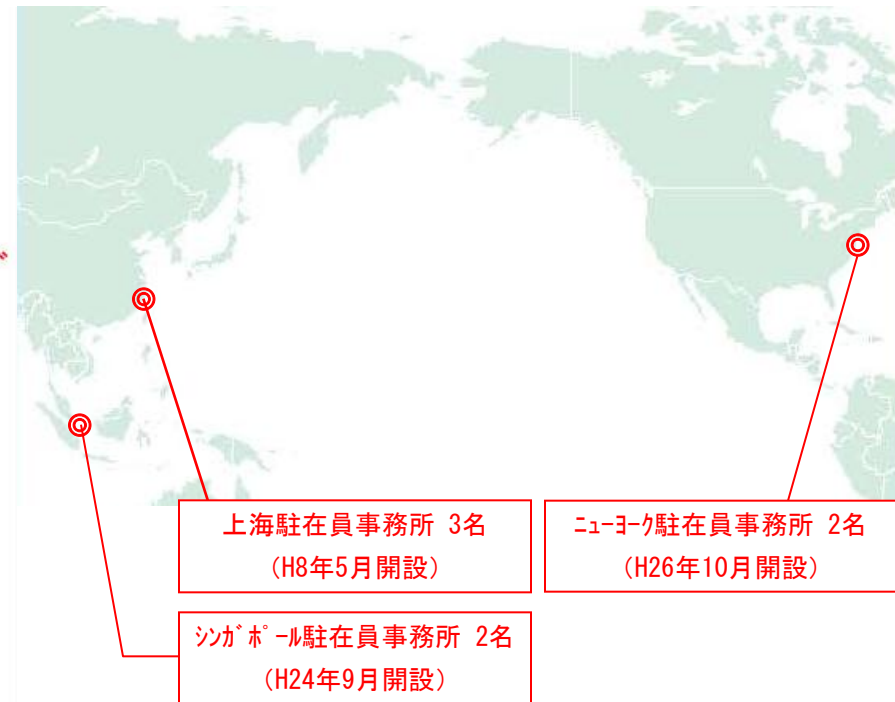


3. 業績 ～店舗展開～

国内（179店舗）



海外（3駐在員事務所）



<p><u>現地金融機関等への派遣 総勢5名</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール（日系金融機関） ・タイ（現地金融機関） ・クアラルンプール（JETRO） ・インドネシア（現地金融機関） ・ニューヨーク（日系金融機関） 	<p><u>提携海外金融機関 計9機関</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カシコン銀行（タイ） ・バンコック銀行（タイ） ・バンクネガラインドネシア（インドネシア） ・インドステイト（インド） ・バンコ・デ・オロ・ユニバンク（フィリピン） ・ベトナム銀行（ベトナム） ・中国信託商業銀行（台湾） ・交通銀行（中国） ・中国銀行（中国）
---	---

目指す姿

地域の未来を協創するベストパートナーバンク

～ 総合金融サービスの進化により、お客さま・地域と価値ある事業を創造し、共に成長してまいります ～

目指す姿の実現に向けた

5

つの基本戦略

1 協創力の発揮

社会・経済構造の変化によって生じているさまざまな課題をお客さま、地域と共有し、創意工夫にもとづく総合金融サービスの提供により、お客さま、地域の課題解決に貢献する「協創力」を発揮してまいります。取り組みにあたっては、「未来協創プロジェクト『PLUS+』」を立ち上げ、当行グループ一丸となって推進してまいります。

2 顧客基盤の拡充

協創力の発揮には、お客さま、地域との課題共有・解決の前提となる、深い信頼関係にもとづいた取引浸透と取引先ネットワークの充実が不可欠であり、いばらき圏の中での「顧客基盤の拡充」を進めてまいります。

3 市場運用力の強化

グローバル化等の進展を踏まえ、円貨貸出金増強のみならず、収益力の強化に向け、有価証券運用および外貨貸出金等の増強による「市場運用力の強化」に取り組んでまいります。

4 現場力の革新

お客さま・地域との課題の共有・解決に向けた接点強化を目指し、ダイレクトチャネルを活用した営業力強化やチャネル連携の強化、効果的な営業チャネルの構築等による「営業チャネルの革新」に取り組んでいきます。また継続的なBPR推進態勢の構築により、「営業・事務プロセスの革新」を進めてまいります。

5 人材ポートフォリオの再構築

目指す姿の実現に向け最も重要な経営資源である人材について、自律的な育成支援の充実に加え、育成体系の再構築を含めた組織的な人材育成態勢の強化と、総合金融サービスにおける活躍機会の拡大に取り組んでまいります。

未来協創プロジェクト「PLUS+」

平成26年4月、お客さま・地域の課題解決に向けて

「未来協創プロジェクト『PLUS+』」をスタート。

今後、さまざまな取り組みを展開し、協創力を発揮してまいります。



【ロゴマークについて】

- ・オレンジ色は、それぞれ「お客さま」「地域」「常陽銀行」を、赤色は「生まれる（プラスされる）価値」を表します。
- ・4つの組み合わせにより「+」を表すとともに、4つが風車のように回転し、新しい価値を生み出していくイメージも表現しています。

3つの「プラス」

1. 地域の課題解決を通し、お客さま、地域、当行グループの未来にとって「**プラス**」の側面をもたらすことを目指します。さらに東日本大震災からの復興支援に対して、従来にも増して取り組みます。
2. 「運用・調達・決済」という「お客さま、地域の経済活動に不可欠な機能」に「コンサルティング・ITという創造性を提供する機能」を**融合（プラス）**させた「総合金融サービスの進化」を目指します。
3. 地域の課題解決に向け、職務へのやりがいと活躍機会が広がる「**プラス**」**思考**で行動します。

プロジェクト方針

地域の課題解決に向けた総合金融サービス機能の活用可能性を探求し、価値ある事業の創造に資する企画・実行を積み重ね、お客さま、地域とともに未来を協創します。

1 事業協創プロジェクト「アクションJAT ※1」

- 産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所（産総研）が求める技術ニーズと地元企業が有する技術等のマッチングを図る。

➡ 地元企業のビジネス機会、産学連携機会の創出に向けた支援。

※1 JAT：連携する産総研（略称AIST）、常陽銀行（JOYO）、東邦銀行（IOHO）のプロジェクト



(26/11/5 アクションJAT オリエンテーションの様子)

2 常陽 ものづくり企業フォーラム(第7回)

- 地域のものづくり企業の競争力強化や新たな企業価値創出を目的として「技術提案書」を活用し、大手企業との技術商談会、製品・パネルの展示会等を開催。

➡ ビジスマッチング機会の創出に向けた支援。



(25/11/21 ものづくり企業フォーラム(第6回)の様子)

3 「ふるさと投資 ※2」を活用した新事業創出支援

- ミュージックセキュリティーズ(株)と業務提携し、ふるさと投資の活用を希望するお客様を同社に紹介し、新たな資金調達ニーズにお応えする。

※2 ふるさと投資：インターネット等を活用して個人から小口投資を募り、地域資源を活用して地域の活性化に取り組んでいる事業者を支援する仕組み。

➡ 地域の新事業創出に向けた支援。



4 常陽 ビジネスアワード

- 地域経済活性化につながる成長分野等における革新的・創造的な新事業プランを募集・表彰する「常陽ビジネスアワード」を継続開催。

➡ 地域の新事業創出に向けた支援。



(ビジネスアワード2013の表彰の様子)

5 ひざづめミーティング in 農研機構 食品総合研究所 / アグリ交流会セミナー

- ひざづめ（少人数）による外部講師とのディスカッションにより、新商品開発や技術課題解決などの意見交換を行う。

➡ 新商品開発、課題解決、経営力強化などの支援。



(アグリ交流セミナー)

6 常陽 食の商談会 with ローソン

- 地元の食品加工業者の販路拡大支援を目的として9月に開催。
- 大手コンビニチェーンであるローソンと、地元の食品加工業者との個別商談をセッティング。

➡ 地域経済の成長・活性化に向けた販路拡大の支援。



(食の商談会withローソン)

7 ATM宝くじ、茨城空港でのATM設置

- 茨城県内初となる「ATM宝くじサービス」の取扱開始。ご購入いただいた宝くじの売り上げの約40%は、収益金として地方公共団体へ。

➡ 宝くじ収益金の地方公共団体への活用
(少子高齢化・防災対策、教育・社会福祉施設の建設改修等)

- 茨城空港ターミナルビル内に、中国銀聯カードなど海外で発行されたクレジットカードやキャッシュカードで日本円を引き出せるATMを設置。

➡ 利便性向上による地域経済の活性化促進



(茨城空港でのATM設置)

8 公有財産マネジメント

- 高度経済成長期に整備された公共施設やインフラ（公有財産）の老朽化が深刻な問題に。
- 公有財産を取り巻く3つの課題（公共施設の維持管理、公共サービスの提供、財政運営）の解決に向け、公共施設マネジメント白書策定のお手伝いや研修会の開催などを実施しております。

➡ 地域の課題解決・活性化に向けた支援

9 土浦市との連携協定締結

- 平成26年9月、土浦市と中心市街地活性化に向けた連携協定を締結。
- 中心市街地の定住促進と空き家の有効活用に向け、当行が有するノウハウを活用。土浦市の中心市街地への定住促進・空き家の有効活用を目的として、「土浦市まちなか定住促進ローン」（住み替え・空き家活用・住宅取得）の3商品を創設。最大1.0%～1.6%の優遇金利により、ご提供しております。

➡ 中心市街地の活性化に協力（地域の課題解決に向けた取組み）



（26/8/22開催のPPP/PFI研究会：42団体113名出席）



（土浦市との連携協定締結）

「土浦市まちなか定住促進ローン」3商品の概要

①住み替えプラン

○金利優遇 ▲1.0%

③住宅取得プラン

- 金利優遇 ▲1.6%
- 土浦市まちなか住宅建替・購入補助
- ローンパス

市内外からの住み替え

転入

転入

住宅取得

中心市街地

住宅を賃貸として活用

転出

転入

上記賃貸住宅へ入居

②空き家活用プラン

○金利優遇 ▲1.0%

〔賃借人〕

- 土浦市まちなか賃貸住宅家賃補助

5. 株主還元 ～ 配当・自己株式取得～

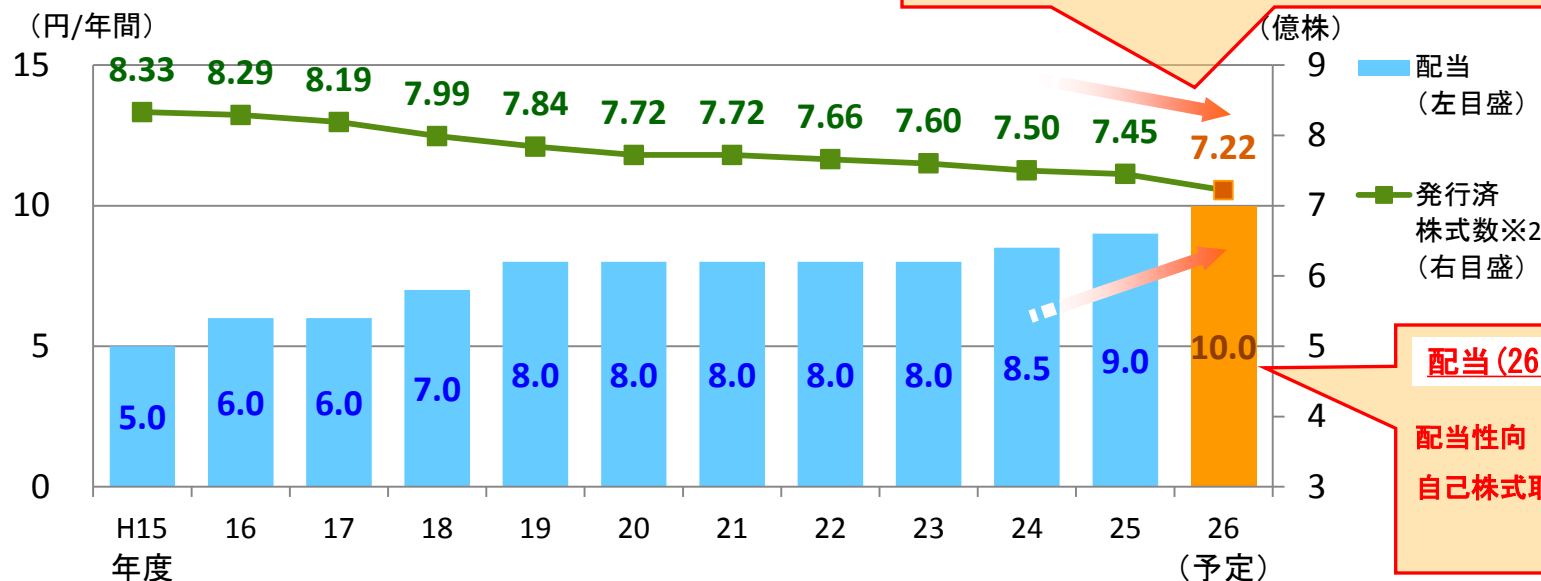
利益配分方針

・ 自己株式取得と配当金を合わせて、単体当期純利益の40%以上

うち配当については単体当期純利益の30%以上※1を目安として還元いたします。

※1 従来は20%以上（平成24年5月変更）

1株当たりの配当および発行済株式数



自己株式取得

	25年度	26年度
○取得株式数	5百万株	23百万株
○取得金額	26億円	118億円
○取得期間	25年5～8月	26年4～7月、11月～27年1月

配当(26年度予想)

10円

配当性向 31.4%※3

自己株式取得を含めた還元率

82%※2

【ご参考】 当行配当利回り※4 : 1.55% 10年国債利回り※4 : 0.33%

※2 自己株式を除く。
 ※3 26年度単体当期純利益予想230億円を基に試算
 ※4 27年2月末日時点

5. 株主還元 ～株主優待制度～

対象となる株主さま

- ・毎年3月末日時点の当行株主名簿に記載された1,000株（単元株）以上お持ちの株主さま。

優待制度の内容

- ・株主優待カタログから、地元特産品や観光プラン（地元旅館でのお食事券等）といったお好みの優待品・優待コースをお選びいただけます。

保有株式数	お選びいただける地元特産品
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当
10,000株以上	6,000円相当

ご注意事項

- ◇本優待制度は、株主ご本人さまのみご利用いただけます。
ご家族・ご親族を含む第三者への譲渡・貸与等はできません。
- ◇本優待制度のご利用方法等につきましては、対象株主さまにお送りする株主優待カタログをご覧ください。

株主優待カタログ



【お選びいただける地元特産品（例）】



※ 画像は、地元特産品のイメージです

お問合せ先

- ◇株主優待制度について
 - ・常陽ハローセンター TEL 0120-380-057（平日:AM9:00～PM8:00）
- ◇当行株式事務に関する一般的なお問合せについて
 - ・（当行株主名簿管理人）三菱UFJ信託銀行 TEL0120-232-711

6. 株価動向 ～当行株価動向～

【2000年1月～】

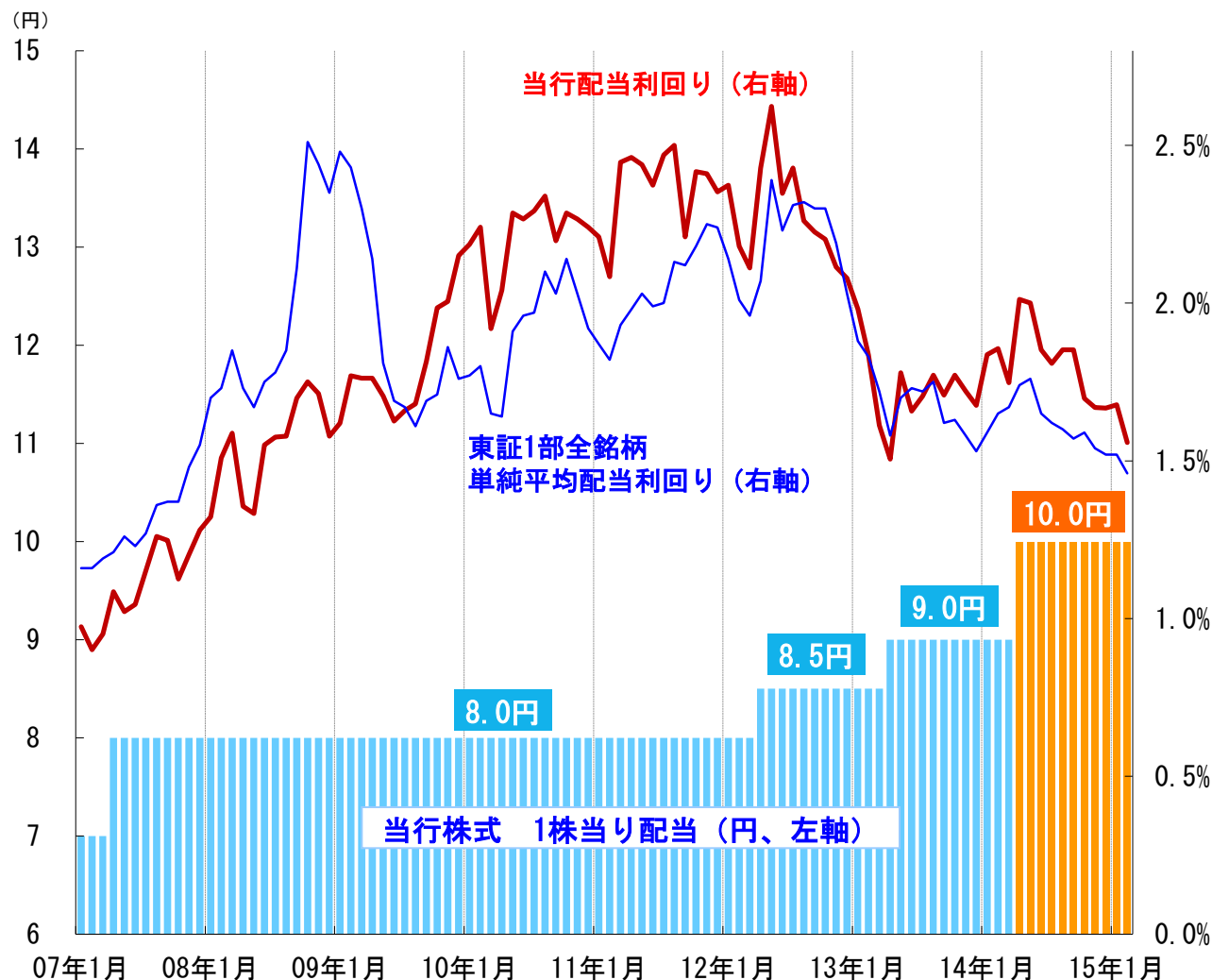


【2010年1月～】



6. 株価動向 ～配当利回り～

【2007年1月～】



【利回り】

当行配当利回り 1.55%
(H27年2月末の当行株価(642円)で算出)

株主優待を含めた利回り 1.94%
(1,000株の場合)

(ご参考)

東証1部全銘柄
単純平均配当利回り 1.46%

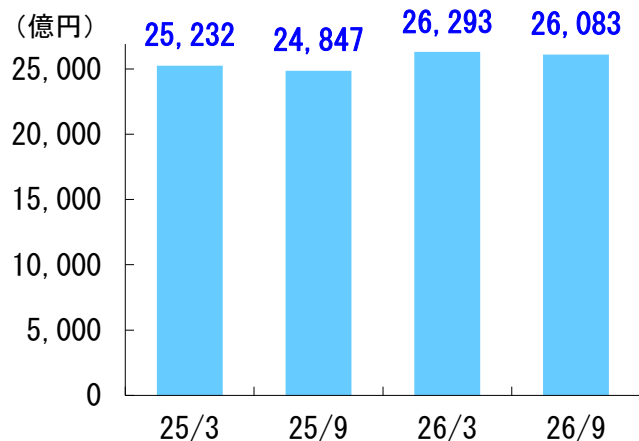
【株価指標】

(H27年2月27日基準)

当行株価	: 642円
PER	: 16.99倍
PBR	: 0.81倍
EPS	: 37.80
BPS	: 786.84
年初来高値	: 669円 (27.2.23)
年初来安値	: 554円 (27.1.16)
時価総額	: 4,919億円

有価証券（残高推移）

◎円金利リスクや通貨バランス等を考慮し、慎重に運用。



有価証券（評価損益）

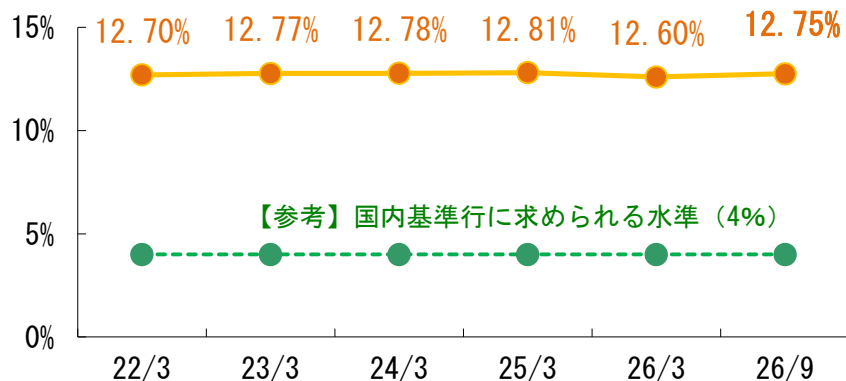
◎ 債券・投資信託・株式とも評価益の状況。

(平成26年9月末現在)

	簿価	評価損益
有価証券	2兆6,083億円	+1,653億円
うち国債	1兆2,827億円	+240億円
うち地方債	2,681億円	+36億円
うち外国債券	3,467億円	+31億円
うち投資信託等	1,529億円	+203億円
うち株式	1,386億円	+1,045億円

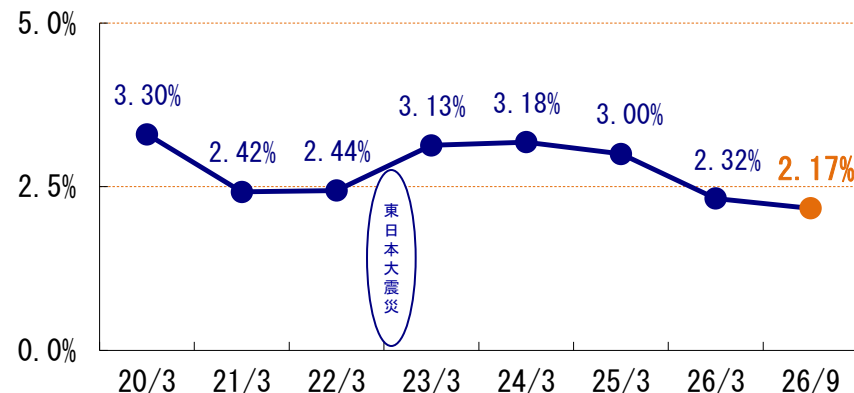
連結自己資本比率

● 連結自己資本比率



※26年3月期よりパーゼルⅢ（国内基準行）基準で算出しております。

貸出金等残高に占める金融再生法開示債権の比率



【ご注意】

- ◎ 本資料には将来の業績に関わる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取り巻く環境の変化等によるリスクや不確実性を内包しておりますことにご留意ください。
- ◎ 本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に関するお問合せ、ご意見、ご感想は下記までお願いいたします。

＜お問合せ先＞ 株式会社 常陽銀行 経営企画部



TEL

029-300-2603

FAX

029-300-2602

E-mail

ir@joyobank.co.jp

URL

<http://www.joyobank.co.jp/>